

2017年1月20日

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル
代表取締役社長 菊地 哲

高度サイバー攻撃に対応した簡易なセキュリティアセスメントサービスを開始 中堅企業を中心にお客様のセキュリティ支援サービスを強化

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:菊地 哲、本社:東京都千代田区、以下:CTC)は、企業向けのセキュリティ支援サービスを強化する一環で、高度なサイバー攻撃に対応した簡易なアセスメントサービスを無償で本日から開始します。アンケートの回答内容から対応策をレポートとして提示するサービスで、中堅企業を中心にアセスメントからコンサルティング、セキュリティ関連の製品・サービスの提供につなげ、今後3年間で30億円の売上を目指します。

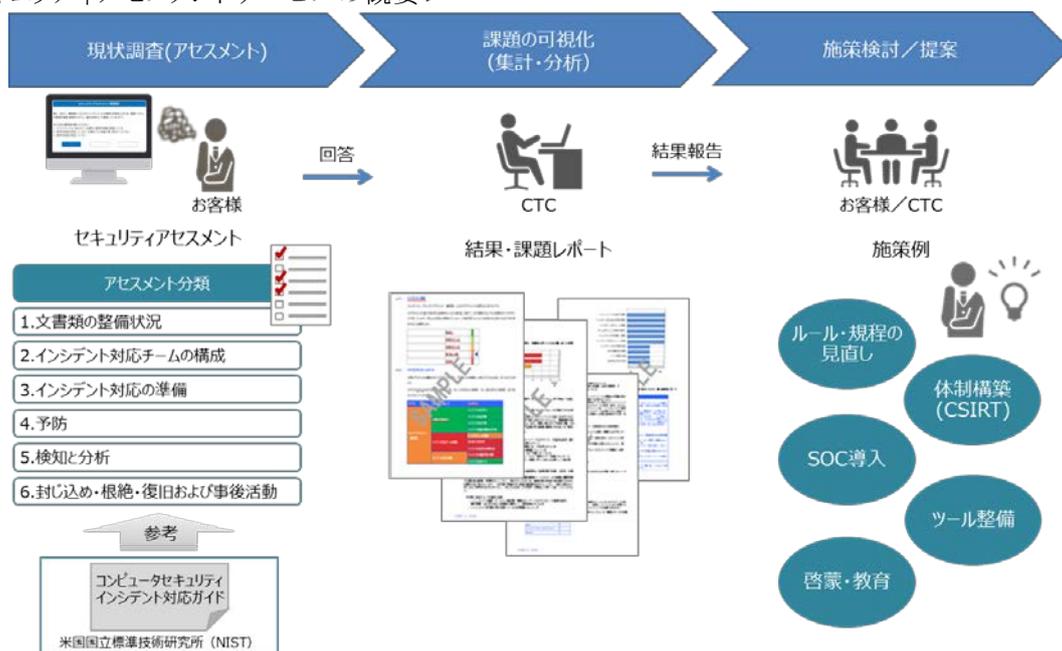
近年、サイバー攻撃は複雑化・多様化しており、従来の入口中心のセキュリティ対策の他に、侵入を前提とした出口対策や迅速かつ適切な対応を行うための体制の強化が求められています。しかし、自社のセキュリティ対策の有効性を正しく評価し、対応を決定することは、限られた予算と人員の中では難しくなっています。

セキュリティアセスメントサービスは、お客様が概要版で30問、詳細版で150問程のアンケートに回答することで、セキュリティ対策の現状レビューを行い、推奨する対応策を含めてレポートとして提示するサービスです。アンケートの内容は米国国立標準技術研究所(NIST)が発行するコンピュータセキュリティインシデント対応ガイドに基づいており、「書類の整備状況」、「インシデント対応チームの構成」、「インシデント対応の準備」、「予防」、「検知と分析」、「封じ込め・根絶・復旧および事後活動」の6つのカテゴリから構成されています。申込みはお客様から直接お受けし、お客様はWeb上から回答を行います。お客様はコストをかけずに自社のセキュリティ対策の現状と有効性を把握し、最適なセキュリティ対策の検討を行うことができます。

その後、対応策のレポートに基づき、自社のサービスを適切に組み合わせてお客様の状況にあったセキュリティ対策を提案します。セキュリティ機器の状況を24時間365日遠隔から監視するCTCマネージド・セキュリティ・サービス(CTC-MSS)や標的型攻撃から企業内の端末を保護するエンドポイントセキュリティ製品など、アセスメント項目と関連した具体的なソリューションを揃えています。

今後も企業のセキュリティ向上を支援する製品・サービスを拡充し、システムの安定運用に貢献していきます。

<セキュリティアセスメントサービスの概要>



<アセスメントの質問例>

アセスメント分類	質問カテゴリー
4. 予防	リスク評価
	脆弱性対策
	標的型攻撃対策
	サーバのセキュリティ対策

質問画面イメージ

セキュリティアセスメント(概要版)

侵入、改ざん、情報漏えいなどのインシデントによる被害の未然防止のため、情報システムの脆弱性検査(脆弱性スキャン、擬似攻撃など)を実施していますか？

当てはまる選択肢を選んでください。

1. ITライフサイクルにあわせて、計画的に脆弱性検査を実施している
2. 脆弱性検査を実施しているが、計画的でなく検査対象・項目も十分でない
3. 脆弱性検査を実施していない

1

2

3

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
広報部

TEL:03-6203-4100/E-mail:press@ctc-g.co.jp